

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西天満小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	北区
学 校 名	大阪市立西天満小学校
学 校 長 名	乗京 慎二

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・大阪市立西天満小学校では、第6学年 43名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立西天満小学校の結果概要

国語、算数ともに大阪市平均、全国平均を上回る結果となった。平均正答率は、国語67.0%（大阪市59.0%、全国60.9%）、算数66.0%（大阪市56.0%、全国56.4%）であり、大阪市平均をそれぞれ8.0ポイント、10.0ポイント上回っている。また、平均無回答率は両教科とも大阪市平均、全国平均を下回っている。児童質問調査では、友達関係や自己肯定感、他者を思いやる意識について肯定的な回答が多くみられた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】すべての出題領域で大阪市平均、全国平均を上回っている。特に「読むこと」は全国平均を9.7ポイント、「情報の扱い方に関する事項」は9.3ポイント上回っており、文章を読み取る力や情報を扱う力の定着がうかがえる。一方、「書くこと」は4.6ポイントの上回りであり、根拠を明確にして自分の考えを文章で表現する力をさらに高める必要がある。

【算数】すべての領域で大阪市平均、全国平均を上回っている。特に「図形」は全国平均を12.7ポイント、「変化と関係」は10.8ポイント上回っており、図形の性質や数量の関係を捉える力が育っていると考えられる。一方、「データの活用」の正答率は57.0%であり、資料を根拠に説明する学習の充実が求められる。

両教科とも基礎的な知識・技能の定着がみられる。今後も日々の授業改善を継続し、考えを説明し合う学習活動を通して、思考力・判断力・表現力をさらに育成していきたい。

質問調査より

【学校生活】「学校に行くのは楽しいと思いますか」に90.7%、「友達関係に満足していますか」に97.7%の児童が肯定的に回答している。また、「自分には、よいところがあると思いますか」に97.6%、「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に97.7%、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に100%が肯定的に回答しており、自己肯定感や他者を尊重する意識が育まれていることがうかがえる。

【ICT・学習】「インターネットを使って情報を収集することができる」に81.4%、「ICT機器を使って発表のスライドを作成することができる」に81.4%が肯定的に回答している。また、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」に88.4%が肯定的に回答した。一方、「人と違う意見を言っても否定されないと思う」は72.1%であり、安心して多様な考えを表現できる学級づくりを一層進める必要がある。

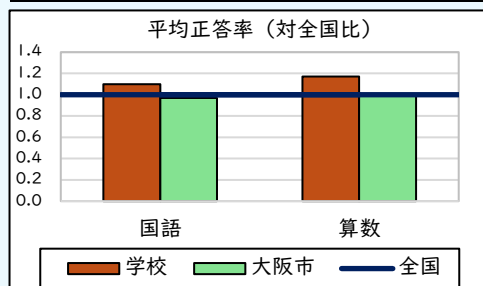
今後の取組（アクションプラン）

- ・国語、算数ともに良好な結果がみられる一方、自分の考えを根拠とともに書いたり、筋道立てて説明したりする力の育成を継続的な課題と捉える。日記等の言語活動や各教科の記述・説明活動を充実させ、考えを整理して伝える力の向上を図る。
- ・校内研究の主題である「協働的な学びを通して互いに高め合う子どもを育てる」を踏まえ、互いの考えを認め合い、比較・検討しながら学びを深める授業づくりを進める。児童が安心して発言できる環境を整え、学ぶ楽しさや自分の成長を実感できる授業改善に組織的に取り組む。
- ・ICT機器を情報収集だけでなく、考えの整理・共有や発表、振り返りにも効果的に活用し、主体的に課題を解決する力の育成につなげる。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

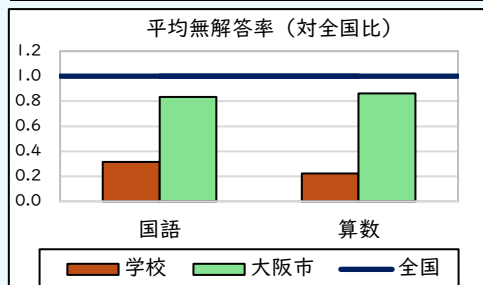
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	67	66
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



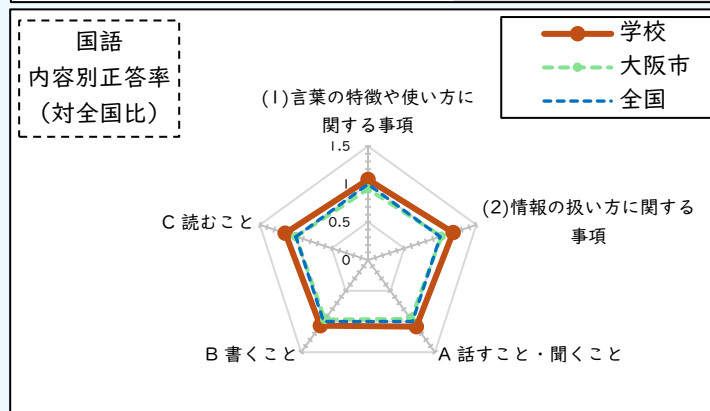
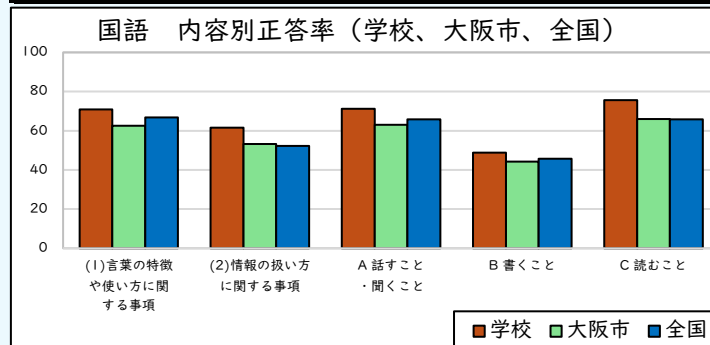
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	1.1	0.7
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



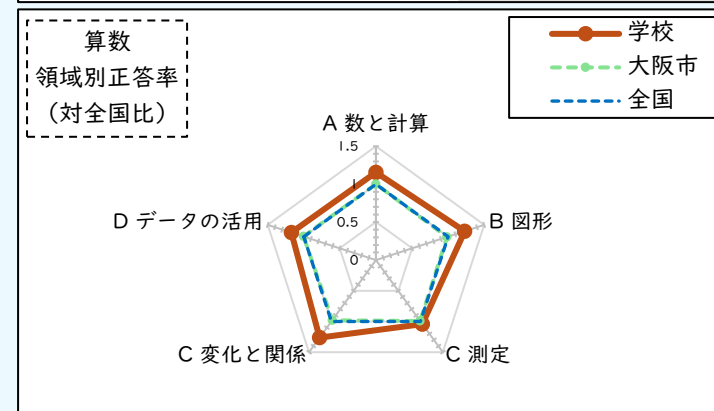
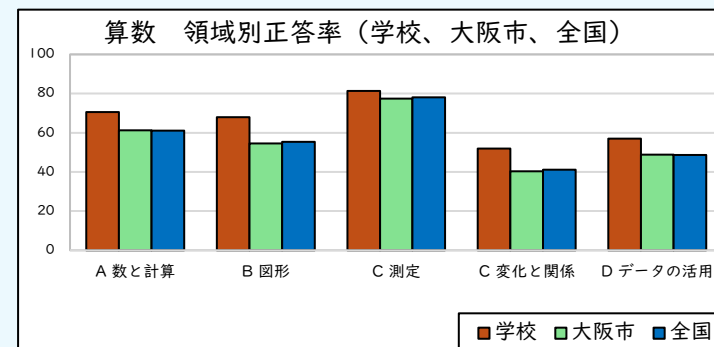
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	70.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	61.6	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	71.3	63.1	65.8
B 書くこと	2	48.8	44.2	45.7
C 読むこと	2	75.6	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	70.6	61.2	61.1
B 図形	4	68.0	54.5	55.3
C 測定	1	81.4	77.5	78.1
C 変化と関係	3	51.9	40.3	41.1
D データの活用	4	57.0	48.8	48.6



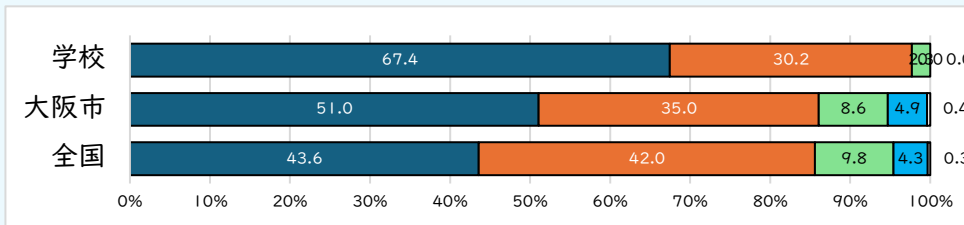
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

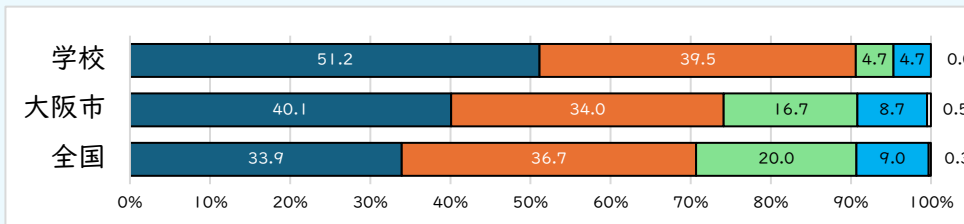
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



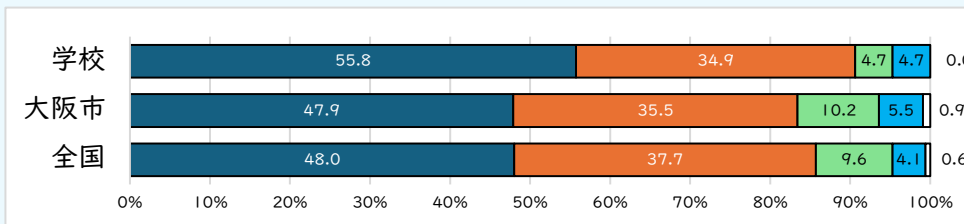
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



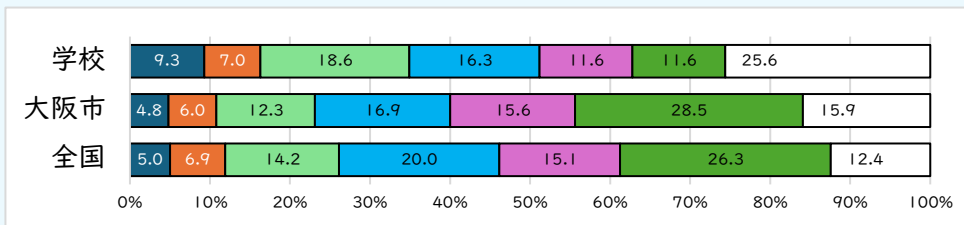
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



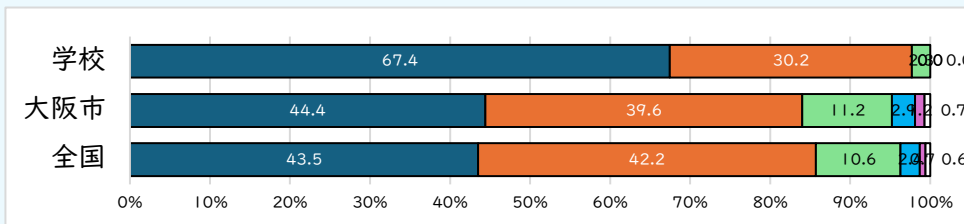
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(26) 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



1 2時間以上
2 1時間以上、2時間より少ない
3 30分以上、1時間より少ない
4 10分以上、30分より少ない
5 10分より少ない
6 全くしない

(42) 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない
5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

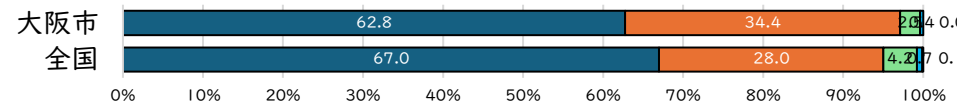
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(13)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、児童が相談したい時に相談できる体制となっていますか

【学校の回答】 1 そう思う

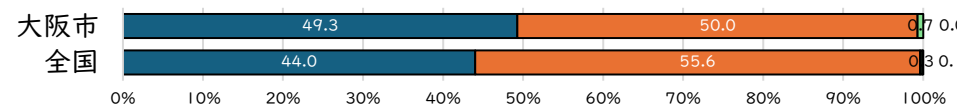


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

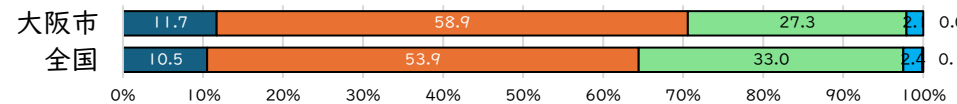


1 十分に取り入れている
2 一部取り入れている
3 全く取り入っていない

(30)

調査対象学年の児童は、授業では、自分で学ぶ内容を決め、計画を立てて学ぶ活動を行っていると思いますか

【学校の回答】 2 どちらかといえば、そう思う

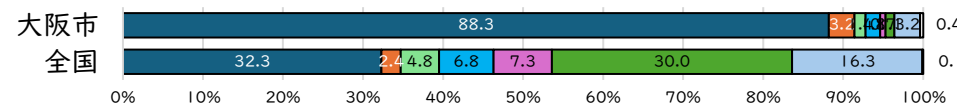


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(70-5)

児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか。
(5) 児童の心身の状況の把握

【学校の回答】 1 ほぼ毎日

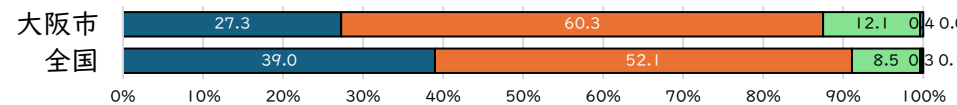


1 ほぼ毎日
2 週3回以上
3 週1回以上
4 月1回以上
5 月1回未満
6 活用していない
7 該当する児童がいない

(82)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった